



江ノ口橋(岩永三五郎最後の作)
(薩摩川内市)



申木野氏の墓石群
(いちき串木野市)

鹿児島県はおもしろい
 鹿児島県はたのしい
 鹿児島県はおいしい
 鹿児島県はあたたかい
 そして
 鹿児島県は不思議のくに

ひつじぶく

第6号

1つ挨拶

暖冬の師走を迎えましたが、皆様方にはこのようにお過ごしでしょうか。

明治維新一五〇年は大河ドラマ「西郷どん」で始まり、私達鹿児島県民が愛する西郷さんの生方が丁寧に描かれ、心の奥を知ることが出来たのは望外の喜びでした。

第一回から涙なしには観られない大河ドラマは「西郷どん」だけでは足りないでしょうか。最終回はどうなるのでしょうか。西郷さんはすべての人が幸せにくらせるように奮闘してくれました。私達もそのような生き方をしたいものです。来年一月十七日(日)には西郷さんの足跡を再び訪ねる「もう一度西郷どん」のツアーを計画しておりますので是非お出かけ下さいませ。

さて平成から新しい年号になる来年は、島津義弘公没後四〇〇年、そして斉彬公生誕二一〇年にあたります。私共の活動もまだまだこれからとの思いで続けて参りますのでお力をお貸し下さいませ。本年も皆様の暖かいご支援のもとに良い一年になりました。来年も皆様が平穏で佳き年でありませうように

特定非営利活動法人かごしま新発見伝塾

理事長 今井俊子

発行者
 NPO法人
 かごしま新発見伝塾
 〒891-1231
 鹿児島市小山田町 6980
 Tel 099-238-7282
 Mail info@kagoshima-shinhakken.net
<http://www.kagoshima-shinhakken.net>

■関ヶ原と薩摩義士顕彰の旅

三一年四月二十五日前後 一泊三日(未定)

義弘公没後400年を迎えて、関ヶ原の退き口を顕彰し、また、薩摩義士顕彰の岐阜治水神社の大祭に参加して、先人の遺徳を偲びたいと思います。そしてゆかりの地を巡ります。

詳細は近日発表いたします。

是非ご期待ください。

■三一年一月～三月の事業予定

歴史よもやま話(講座) 一〇時～一二時

会場 市福祉プラザ4F

01月24日(木) 島津家発祥創成期

02月28日(木) 戦国島津家

03月28日(木) 江戸時代幕末島津家

街歩き 一〇時～一二時半 会費一〇〇〇円

03月14日(木)、17日(日)西田、常磐町

「斉彬生誕210年記念、殿様の城下入り」

水上坂 西郷家墓地も

原口教授の野外歴史教室バスツアー

01月27日(木) 会費五、八〇〇円

「義弘の生涯を旅する」帖佐・加治木・桜島

知るを楽しむバスツアー

02月17日(日) 会費三、九八〇円

「西郷さんを巡る旅 生誕地から西郷墓地まで」

加治屋町 武屋敷 野屋敷 駄馬落碑 吉野開墾地碑等

03月30日(土) 会費五、五〇〇円程度

「春の一日遠足スナップエンドウ狩り開闢」

スナップエンドウ五〇〇グラム付き

「薩摩ゆかりの京都旅」道案内記

初めまして、山田と申します。京都で生まれ育ち、今は伏見区に在住しています。

「がごしま新発見伝塾」とは、ひょんなご縁がありまして、今回の南日本リビング新聞社が企画された「薩摩ゆかりの京都旅」の道案内をさせて頂くことになりました。

打ち合わせの頃は、はたしてどれだけのご参加が頂けるかと不安でしたが、予約受付と同時に多数の方々からお申込みを頂き、催行人員に達したと伺った時は驚きでした。

出発日の3日前、9月4日に京阪神を直撃した台風21号により、京都も多数の倒木や建物の崩壊、屋根瓦の飛散等、文化財や家屋が多く被災し、訪問を予定していました東福寺即宗院の「東征戦亡之碑」と清水寺境内の地主神社へは残念ながら入れませんでした。

善悪は別として、関西空港閉鎖の影響か、清水寺も伏見稲荷大社も訪れる外国人客が少なく、混雑もブーム以前の混みようでした。

「京都旅」初日の7日の天候は雨と曇り、それに残暑で、ものすごく蒸し暑く、俗に「冬の底冷え、夏の蒸し暑さは京の名物？」の一方を十分ご体験頂けたかと思えます。

今回の京都旅では、それぞれの寺院が行わ

れる特別公開時にしか見ることができない所をいくつも見ることができました。

西郷さんが、最上層から鳥羽の戦いの戦況を遠望したと伝わる東寺五重塔、その初層の内部、月照上人と密談されたと伝わる清水寺成就院や東福寺即宗院、大久保利通と国事を論じたと伝わる大黒寺座敷。薩摩とは直接関連しませんが、南北朝時代には一時期御所とされたこともあった東寺の小子房等々、京都に住んでいても、なかなか見る事ができない所ばかりでした。

伏見で訪れた寺田屋で起こった寺田屋事件は薩摩幕末史でも大きな事件の一つですが、大黒寺のご住職のお話ですと、大黒寺の檀家総代で、清酒「英薫」の醸造元の齋藤家が、当時は呉服商で、寺田屋の異変を聞いた齋藤家の当主は、手代と共に現場に駆けつけ、上意打ちのために放置されたままの志士たちを、白木綿で包み大黒寺へ運び埋葬されました。

後に西郷さんによって「寺田屋殉難九烈士の墓」が建立されたそうです。

今回の旅では、残念ながら車窓からでしたが、小松帯刀邸（御花畑御屋敷）があった場所の特定についてのお話で感心したのが「平成28年に新たな史料が見つかり、鞍馬口通りにあったことが確認された」そうで、堀川通一条東から、昨年3月にこの場所に移され

ました。

150年近く経っても新たな資料が見つかるとは凄いものです。毎年1月に行われる「都道府県対抗女子駅伝」の放送で、3区の走者がタスキを受けるシーンの画面の左側が「御花畑御屋敷・薩長同盟」のあった場所、3区の走者が走り出してすぐ画面の右に同志社大学・薩摩屋敷、そして御所・蛤御門と、バスで辿った場所を見ることが出来ます。

車窓から言えば、鳥羽の戦いの下鳥羽小枝橋付近。個人で訪れるには少し不便で、観光する所も殆どありませんが、地形は当時とあまり変わっていませんから、機会があれば往事の地を体感されてはいかがでしょうか。

最後に、短い間でしたが、皆さんと一緒させて頂き、素敵な非日常的体験をさせて頂いた事に感謝とお礼を申し上げます。

またご縁があり、みなさんと京都の街を歩くことができれば幸いです。

正会員 山田史夫（京都在住）

東寺五重塔



西郷建立寺田屋九烈士墓

シリーズ「さつまつまの女性」 其の四

戦国女性 幸せの見つけ方

島津義弘の妻・宰相夫人

戦国武将島津四兄弟の次男島津義弘は愛妻家でした。義弘は生涯に三回の結婚をしておりますが、一回目と二回目は政略結婚でした。義弘が鷹狩りに出かけたある日、小野村（現鹿児島市小野町）という所を通りかかった時、小川で大根を洗っていた娘に、「旨かそうな大根だ」と声をかけると、その娘は被った菅の笠をひっくり返して、その上に大根をのせて恥ずかしそうに差し出しました。義弘はその姿に一目惚れしたと伝えられます。これが後に「宰相夫人」と呼ばれた女性でした。実はこの女性の実父は園田清左衛門といい、義弘の父である島津第十五代貴久の窮地を救ってくれた恩人であったのです。貴久は下克上の時代一五一年、伊作島津家に生まれますが、本家が勢力を落とす中、本家の家督を継ぎ、鹿児島清水城を居城とします。一三才の時でした。ところがこれを許さない薩州家島津実久は貴久を攻め、清水城から追い出します。貴久は小野村を通り、生誕地の金峰山の麓、田布施の亀ヶ城まで逃げるのですが、この小野村に住んでいた園田清左衛門が機転をきかし、小屋の隅に貴久を隠し、追手を欺いて助かったのです。

やがて、入来院家の娘、雪窓夫人と結婚した貴久は義久・義弘・歳久という三人の男児を成します。（四男家久は母親が本田親康の女）

青年武将となり合戦が続く中、義弘は大きな喜びと幸せを手に入れました。それが前述の宰相夫人との結婚でした。日向、肥後、薩摩の境の真幸院と呼ばれた地（現えびの市）に二六年間居住した二人は五男一女の子宝に恵まれます。真幸院は北に九州山地、南は霧島連山に囲まれた盆地で、冬は極寒の地ですが、二六年間喜びも悲しみも共に歩みます。しかし宰相夫人にとっては悲しみも大きい年月だったかも知れません。五人の男児の内、長男鶴寿丸は八才、次男久保は朝鮮の役に出兵し、二〇才で亡くなり、四男万千代は秀吉の人質として上京中、大坂堺で、五男忠清は栗野城で亡くなり、後の初代藩主になる三男忠恒だけが残り残りました。特に忠清が亡くなった時は悲しみの余り、信仰心を忘れ、世の中の不条理を呪い、半狂乱の有様でした。このような状況の中、忠清の側近の若者が「あこの世で忠清様をお守りします」と言い遣し、自害してしまうという悲劇もありました。この時義弘は秀吉の命により、栗野城から朝鮮の役に出陣しており、この悲劇は故郷から届く便りを知るばかりでした。子を亡くす悲哀を離れ離れの夫婦が味わったその深さは如何ばかりだったでしょう。義弘は遠い異国から手紙で妻を慰め

ることしかできませんでした。しかし愛する我が子を失った悲しみにばかり浸ってられない義弘は部下をねぎらい、激励しつつ、必ず生きて帰国するのだぞ、と強い信念で戦い抜きました。

やがて、関ヶ原の戦いが勃発。西軍についた義弘でしたが、戦いが決着した後、大坂に囚われていた宰相夫人と鶴寿を救い出し、共に鹿児島に帰ります。

義弘の愛妻ぶりは幾通もの手紙に現れています。「今夜もそなたが夢に出て来た」とか、「この前と同じ内容でよいから便りをしてくれ」「私は白髪が増えて会ったらびっくりするかも知れないね」などと書き送っています。

晩年は加治木に館を造り、やっと夫婦らしい暮らしを手に入れたのでしょうか。二人が歩んできた道は平坦ではなかったでしょうが、苦しい時も悲しい時も見守ってくれた義弘の心に、宰相夫人は「これでよかった」と思えたかも知れません。宰相夫人は義弘より先に逝きました。

今井俊子



鶴寿丸墓



加久藤城跡

これまでの活動実績

本年度の活動の主なものを挙げてみました。会員の皆様をはじめご参加頂きました方々に感謝です。

街歩き（街歩きに関する事業）

平成30年04月 2回	第42回	赤山靱負と桂久武と天文館	17名
平成30年05月 2回	第43回	西郷・大久保と仲間達 加治屋町郷中	24名
平成30年09月 1回	第44回	城山西郷洞窟・終焉地・私学校・銅像を歩く	7名
平成30年10月 1回	第45回	南洲墓地へ出かけましょう	6名
平成30年11月 2回	第46回	多賀山と桜島と東郷平八郎	10名

知るを楽しむバスツアー（観光資源の発掘に関する事業）

平成30年05月 26日	薩摩川内市の深い歴史と文化と西郷さんゆかりの地を訪ねて	37名
平成30年06月 30日	志布志夏越しの祭りとお深い歴史とご当地グルメ	45名
平成30年10月 20日	徐福と家久と西郷どんとサツマスチューデント 串木野	27名
平成30年12月 01日	来年義弘公没後400年 国造りの地を訪ねて えびの	29名
平成31年02月 17日	西郷さんを巡る旅～生誕地から南洲墓地まで～	45名
平成31年03月 30日	春の一日遠足、指宿スナッフエンドウ狩り	45名

原口泉教授の野外歴史教室（観光に携わる人材育成に関する事業）

平成31年01月 27日	島津義弘没後400年、生涯を訪ねる・帖佐・加治木・桜島編	44名
--------------	------------------------------	-----

グランドマスター・フィールドワーク（観光アドバイザーに関する事業）

平成31年03月 10日	徐福と家久と西郷とサツマスチューデント 串木野	40名
--------------	-------------------------	-----

講座「歴史よもやま話」

平成30年04月 26日	重豪の世界	28名
平成30年05月 17日	調所笑左衛門	28名
平成30年06月 28日	西郷と仲間達	26名
平成30年07月 19日	南洲翁遺訓と漢詩	22名
平成30年08月 23日	久光の世界	27名
平成30年09月 20日	菊次郎 後編	25名
平成30年10月 11日	西南戦争	21名
平成30年11月 15日	西郷家の人々	23名
平成30年12月 13日	義弘公没後400年を迎えるにあたって	22名
平成31年01月 24日	島津家発祥・創成期	
平成31年02月 28日	戦国島津家	
平成31年03月 28日	江戸時代・幕末島津家	

講演

平成30年04月 25日	「西郷さんの生涯」	鹿児島西ロータリークラブ	50名
平成30年08月 03日	「西郷さんの生涯」	全日本不動産協会県女性部	30名

ガイド事業

平成30年04月～11月	JTB大浪漫西郷さんゆかりの地	JTB国内商品企画	517名
平成30年07月 06日	西郷さんを訪ねて	県老人クラブ連合会	40名
平成30年09月 22日	西郷さんを訪ねて	日立アプライアンス	45名

て皆ま出をに ご相
 おせ来よは投変
 のんるり感稿わ
 りのんよわ謝頂ら
 編集ごようかでいたず
 集責す。意ね。工夫や、山紙
 任者見、夫しす、田面
 今投稿なく私会
 井稿もいお共員
 征お待と伝の活
 男ちしけい動

編集後記



かごしま検定グランドマスター女性会の仲間達が西郷さんの紙芝居を作り、他の楽しい演目も併せて、子供達を喜ばせました。本年は20校の児童クラブで公演したそうです。



本年はやっぱり西郷さんを語る事が多いでした。